

75. ヨット章

考查細目	考查方法	合格年月日	認印
(1) 水泳章を有すること。	水泳章の提示		
(2) 帆走の原理について説明すること。	口述		
(3) ヨットを帆装別、及び船体別に分類してその特長を述べる。また、自分が用いるヨットの各部の名称をあげて、その機能を説明すること。	口述		
(4) 海難防止のための基本的な事項、及び帆走前、帆走中において注意すべき事項について説明すること。	口述		
(5) 仲間の協力を得て、次のことにより艇を帆走できることを示すこと。 ア 艇を艀装する。 イ ヨット・ハーバーまたは砂浜より発艇する。 ウ ランニング、ピーティング及びリーチングにより、指定されたコースを帆走する。 エ タッキング及びジャイピングにより方向転換する。 オ 艇を止めてアンカーを打つ。 カ ヨット・ハーバーまたは砂浜にもどったときに、すべての用具を点検し格納する。 キ 転覆によって艇から転落した人を救助する。 ク 座礁及び荒天の際にとるべき措置を説明する。	実演		
(6) 次のことができること。 ア 次のロープ結びができ、その用途を説明する。スクエアまたはリーフノット(本結び)、クラブヒッチ(巻き結び)、ツーフーフヒッチ(ふた結び)、もやい結び、8の字結び、ムアリングヒッチ(馬つなぎ)、ひとえつぎ、ショートスプライス イ ロープを巻きあげて、正しく収納する。 ウ ロープの端に索端止めをする。それが用いられる理由を説明する。 エ ヨットに用いられるロープの種類と、それに用いられる繊維の種類、長所短所について述べる。	実演		
(7) ヨットとその用具を手入れし、年間を通じて保管する方法を説明すること。	報告書(活動記録)の提出		

※ 水辺・水中・水上の活動については、安全器具(ライフジャケット等)が正しく取り扱えること。

考查課目の全てに合格したことを証明します。

年 月 日 技能章考查員 印

76. 武道・武術章

考查細目	考查方法	合格年月日	認印
(1) 武道・武術当該連盟初段以上もしくはそれに相当する試験に合格すること。	合格証の提示		
(2) 武道・武術の精神をスカウト活動にいかすことについて説明できる。	口述または記述		

考查課目の全てに合格したことを証明します。

年 月 日 技能章考查員 印

77. 環境保護章

考查細目	考查方法	合格年月日	認印
(1) 環境保護の意義を知ること。	口述または記述		
(2) 地域における大気・水・土壌のいずれかの汚れに関する問題を認識し、それが地球環境とどのように関わっているかを、具体例を示し説明すること。	口述または記述		
(3) 日本国内の絶滅危惧種を、動物・植物についてそれぞれ2種類以上挙げ、その現状について説明できること。また、地域の自然環境に対し、人間の活動がどのように影響しているか調べ、例を挙げて説明できること。	口述または記述		
(4) 地球環境に影響を与える有害物質を3種類以上挙げ、その危険性を減らすために、個人、グループまたは地域でできることについての提案をする。現在具体的に取り組んでいる場合は、その内容(計画・実施・現時点での評価、等)を提示すること。	口述または記述		
(5) 国立公園などの自然や環境についての知識を深めることができる施設を訪問し、そこで学んだ内容についてレポートを提出する。特に、その周囲の環境や生態系に影響を及ぼしている事項について具体的に示すこと。	記録の提出		
(6) 「持続可能な開発」について、次の点に留意し、内容を説明できること。 ・ 国際的にどのような取り組みが行われてきたか ・ 日本は現在までどのような取り組みを行ってきたか	口述または記述		
(7) 環境保護活動に取り組むための計画を立て、実施し、その結果を隊長に報告し承認を受けること。	報告書の提出		

考查課目の全てに合格したことを証明します。

年 月 日 技能章考查員 印

78. 報道章

考查細目	考查方法	合格年月日	認印
(1) ジャーナリストの伝記や自伝、評伝などを一冊読み、ジャーナリストの役割や社会的使命について考えを示すこと。	口述または記述		
(2) 地域の新聞社・支局や放送局を見学し、その役割について理解する。ジャーナリストの専門領域にどのようなものがあるか知ること。	口述または記述		
(3) 新聞やテレビなどこれまでのメディアと、SNSやWebメディアなどの新たなメディアのそれぞれの機能と役割、社会に与える影響をメディア・リテラシーの観点から自分の考えをまとめて提出すること。	報告書の提出		
(4) メディアで働く人に面会し、ジャーナリストやメディア人として働く喜びや使命感などについて話を聞き、400字程度の記事にまとめて提出すること。	報告書の提出		
(5) 地区や団の情報誌の企画を担当し、その発行に関わるか、定期刊行物がある場合は、編集や記事の執筆で中心的な役割を担った経験があること。	報告書の提出および記録の提出		
(6) 県連盟や地区の広報責任者に協力して、スカウト活動やイベントなどを地域のメディアに売り込むか、ニュースリリースを作り、広報責任者に提案すること。	報告書の提出および記録の提出		
(7) 県庁や市役所、企業の広報担当者を訪ね、仕事の概要とメディアとの関係などについて話を聞き、内容を報告すること(可能ならば記者クラブなどの見学を行うこと)。	記録の提出		
(8) 行政や企業、NPOの出したニュースリリースを一つ選び、どのような報道であったのか調べ報告すること。	報告書の提出		

考查課目の全てに合格したことを証明します。

年 月 日 技能章考查員 印